

第16回
東京商店街
グランプリ
事例集 2021

 東京都産業労働局

10

コロナに負けない！マップ

西荻北銀座商友会（杉並区）

事業の概要

コロナ禍においても安心して商店街を利用してもらいたいとの願いを込めて、商店街や各店舗が実施する感染症防止策を記載した街歩きマップを作成した。

また、街歩きマップには、商店街の歴史や街並みの変遷をたどることのできる「西荻北銀座商友会の今昔マップ」や商店街会長から来街者への感謝のメッセージも合わせて掲載した。

工夫した点

各店舗の紹介欄にテイクアウトや検温実施等の感染症防止策をアイコンで分かりやすく表示したほか、普段マスクで顔の見えない店主の似顔絵を掲載するなど、来街者が安心して商店街を利用できる工夫を行った。さらに、各店舗のSNSの有無も合わせて掲載し、来街者が最新情報にアクセスしやすいよう配慮した。

成果及び効果

各店舗の基本情報を紹介すると共に、感染症防止策を周知したことで、コロナ禍における来街者の促進につながった。また、掲載した店主の似顔絵をきっかけに来街者と店主との会話が広がり、交流が深まった事例も生まれた。さらに、マップの作成に当たって会員間の交流が増えたことで、商店街内の連携強化が図られ、相互理解が深まった。



▲コロナに負けないマップ

実施期間 令和2年
12月20日～継続中

商店街データ

- ▶所在地
杉並区上荻4-6-7
- ▶交通アクセス
JR中央・総武線 西荻窪駅から徒歩5分
- ▶お問い合わせ
03-3396-9922
- ▶URL
<https://nishiogi-kitaginza.net/>

11

沖縄タウン わくわく夜市

和泉明店街（杉並区）

事業の概要

和泉明店街の特長は、まさに沖縄の音楽が流れ、沖縄の料理店や雑貨店が多いことである。

商店街の青年部が中心となって、通りに椅子と机を用意した上で、商店街の半数を占める各飲食店がテイクアウト料理を1品ずつ提供し、来訪者に様々な料理を求めて商店街内を回遊してもらう事業を実施した。また、琉球ガラスや島ぞうり等を作る体験型のワークショップを開催した。

工夫した点

各店舗が日ごとに限定のテイクアウト料理を用意し、料理を屋外で食べられるという普段とは異なる特別感を演出した。また、飲食に加え、琉球ガラスや島ぞうり等を作るワークショップや小さな子ども向けの遊び体験コーナーを設置し、商店街により長く滞在してもらえるよう工夫をした。

成果及び効果

イベント当日は、小さな子どもから高齢者まで、幅広い年代の方が商店街を訪れ、商店街を知ってもらう大きな機会となった。

また、商店街の青年部と地域の大学生等が協働して実施したことで、SNSによる情報発信など新たな取組が生まれ、商店街活性化の土台を作ることができた。



▶たくさんの人でにぎわった

実施期間 令和元年
7月28日及び10月27日

商店街データ

- ▶所在地
杉並区和泉1-11-2
- ▶交通アクセス
京王線代田橋駅から徒歩3分
- ▶お問い合わせ
03-3325-6382
- ▶交通アクセス
<http://okinawa-town.jp/>

12

南大塚商店街こいのぼりスタンプラリー

南大塚商店街振興組合（豊島区）

事業の概要

こいのぼりシーズンに、商店街の街路灯にこいのぼりを飾り付けした。また、商店街加盟店舗での買い物客にスタンプ台紙を配布。商店街内の店舗にスタンプを置き、全部のスタンプを捺すと一つの絵が完成するスタンプラリーを実施。完成した絵を持参すると景品（ミニこいのぼりとお菓子セット）がプレゼントされるため、子どもを中心に喜んでもらえるイベントとなった。

工夫した点

スタンプラリーに『重ね捺しスタンプラリー』を採用することにより、多くのイベント参加者を楽しんでもらえる事ができた。また、スタンプカード自体は記念品として大事に保管しているという声ももらった。

成果及び効果

平成30年度に開始したこの事業も3年目を迎え、令和2年度はコロナ禍での実施になったが、地域住民も楽しみにしている春の恒例イベントとなっており、街に賑わいと元気をもたらす『こいのぼりの商店街』として認知されてきた。

また、完成させたスタンプカードで記念品がプレゼントされるため、スタンプラリーを通じて、子供たちが楽しみながら自分の街を知る機会にもなっており、商店街と住民を繋ぐイベントになっている。



▲スタンプラリー台紙

実施期間 令和2年
4月17日～5月7日

商店街データ

- ▶所在地
豊島区南大塚1-2-11
- ▶交通アクセス
JR山手線 大塚駅すぐ
- ▶お問い合わせ
03-3943-4311